

今、浄水場がアツい

強靱

平成28年3月に策定した『湖都大津・新水道ビジョン』に掲げる主要施策が
いよいよ動き出しました。なかでも浄水場に関する施策が今、アツいのです。
前号で紹介した「持続」に基づく浄水発生土有効利用事業に続く第2弾は、
「強靱」に基づく、柳が崎浄水場整備改良工事の取組をご紹介します。

浄水場と配水池を強靱にする耐震化の取組 ～柳が崎浄水場整備改良工事について～

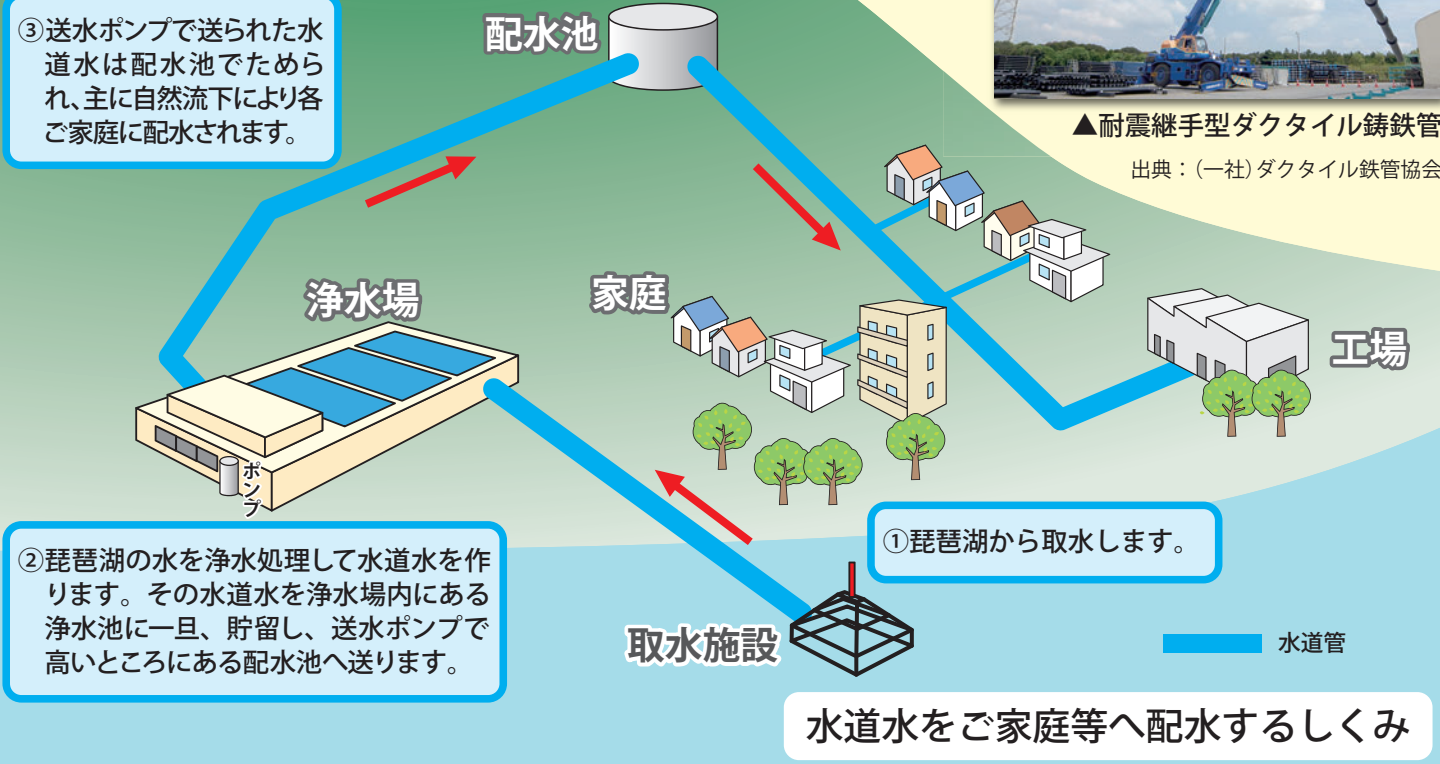
柳が崎浄水場は、昭和23年の竣工より本市の基幹浄水場として稼働しています。

これまで、通常の定期整備や補修に加え、市域拡大に伴う人口の増加や琵琶湖原水の水質変化に対応するため、順次、各浄水処理施設の拡張工事、改良工事を実施し、浄水設備の整備を図ってきましたが、近年これらの設備が老朽化し、更新時期を迎えることになりました。

このため、柳が崎浄水場においては、大津市の水道の将来を見据えた「湖都大津・新水道ビジョン」に基づき、配水池を含む施設の耐震化と設備更新工事を効率的かつ安全に進めています。平成29年3月に「柳が崎浄水場整備改良工事」の契約をJFEエンジニアリング・ニュージェック共同企業体と締結し、昨年度は調査および設計を実施しました。本年度からは工事に着手し、完成は平成34年4月を予定しています。

■ 完成までのスケジュール（予定）

年	平成29	平成30	平成31	平成32	平成33	平成34
調査・設計	[進捗バー]					
工事等		[工事期間バー]				4月供用開始 総合試運転



柳が崎浄水場(現状)

柳が崎浄水場の位置図
大津市役所

柳が崎浄水場の浄水処理フロー 緩速ろ過系と急速ろ過系の2つの処理方法があります。

取水井(1) → 生物接触ろ過池(2) → 活性炭接触池(3) → 混和池(4) → フロック形成池(5) → 薬品沈殿池(6) → 急速ろ過池(7) → 浄水池(8)

着水井(9) → 緩速ろ過池(10) → 浄水池(8)

工事内容
耐震補強 解体撤去 新設施設

水道事業キャラクター
テミイ

大きな地震が発生した時でも、その影響を最小限にするために水道施設や水道管を耐震化するんだね。

教えて、担当者! Q&A

Q 応急給水スペースとは何ですか？
A 災害時には給水活動の拠点となるスペースです。給水車が迅速に水道水を補給できるように場内整備を行います。

